

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<p>⑥ 老人保健及び老人福祉分野</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 老人保健事業の推進に関する研究 (イ) 老人の福祉施策の実施に関する研究 (ロ) 老人保健及び福祉に従事する人材の育成・研修に関する研究 <p>⑦ 社会科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 高齢者虐待及び権利擁護に関する研究 (イ) 介護の場における在宅と施設の連携に関する研究 (ウ) 高齢者の社会生活促進に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (a) 地域ケアにおける当事者役割に関する研究 (b) シニア・ピア・カウンセリング、傾聴ボランティア等に関する研究 (エ) 高齢者の社会参加及び社会貢献に関する研究 (オ) 高齢者の生きがい・満足感及び生活の質に関する研究 (カ) 高齢者の医療と介護の役割分担と連携に関する研究 (キ) 高齢者と障害者のケアに関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> (イ) 高齢者の居住環境に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (a) 高齢者の特性に応じた施設構造、建築等に関する研究 (b) 高齢者在宅生活支援システムの開発に関する研究 (c) 要介護状態に応じた住宅改修に関する研究 <p>⑤ 社会科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 高齢者の健全な社会生活を促進する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (a) 高齢者の生きがい及び生活の質(Quality of Life)の評価法に関する研究 (b) 高齢者の心理及び満足感に関する研究 (c) 高齢者の家庭及び家族関係に関する研究 (d) 高齢者の社会参加及び社会貢献に関する研究 (イ) 高齢者の終末期状態に関する研究 <p>⑥ 漢方及び東洋医学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) あんま、マッサージ、指圧、はり及び灸の除痛効果、鎮痛効果等に関する研究 (イ) 高齢者の虚弱予防のための漢方及び東洋医学に関する研究

研究事業名 障害保健福祉総合研究事業

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<p><事業概要> 平成15年度からスタートする「新障害者基本計画」及びその重点施策実施5か年計画（「新障害者プラン」）に基づいて、各種障害者施策を適切に推進することが重要な課題となっている。 そのため、身体障害、知的障害、精神障害及び障害全般に関する予防、治療、リハビリテーション等の適切なサービス、地域において居宅・施設サービス等をきめ細かく提供できる体制づくり等、障害者の総合的な保健福祉施策に関する研究開発を推進する。</p> <p><新規課題採択方針> 平成15年度を初年度とする新しい「障害者基本計画」及び「障害者プラン」に基づく施策の円滑な推進に資する研究開発、国民・関係者のコンセンサスを得るために必要な理論的根拠の提供に資する研究開発等、障害保健福祉施策の企画・立案及び実施に資する研究開発を実施する。</p> <p>研究費の規模：1課題当たり5,000～15,000千円程度(1年当たり) 研究期間：1～3年 ○新規採択予定課題数：9課題程度</p> <p><公募研究課題> ① 障害者の地域生活への移行を促進するための身体障害者・知的障害者福祉施設機能の体系的な在り方に関する研究 ② 言語的意思伝達に制限のある重度障害者に対してIT技術等を活用した意思伝達手段の確保を支援するための技術開発に関する研究 ③ 精神病院・社会復帰施設の実態把握及び情報提供に関する研究</p>	<p><事業概要> 「障害者プラン」が平成7年12月に策定され、障害者が住み慣れた地域社会の中で、社会の構成員として地域の中で共に生活を送るべきであるというノーマライゼーションの理念に基づいて、各種施策を推進することが重要な課題となっている。 そのため、身体及び精神の障害に関する予防、治療及び訓練並びにもっと身近な市町村においての住宅・施設サービスをきめ細かく提供できる体制づくり等、障害者の総合的な保健福祉施策に関する研究を推進することを目的とする。 なお、平成14年度においては、精神障害者の医療と保健に関する研究の一部について、最先端バイオ・メディカル技術を活用するべく、「こころの健康科学研究事業（仮称）」に組替を行った。</p> <p><新規課題採択方針> 「障害者プラン」に対応した、障害のある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり（ノーマライゼーション）及びリハビリテーションの理念に基づいた障害保健福祉施策の推進のための基盤的施策や、身体障害・知的障害・精神障害等に関する研究。 障害者の就労支援や社会参加、資格取得等に向けた支援機器の開発に関する研究。</p> <p>研究費の規模：1課題当たり5,000～20,000千円程度(1年当たり) 研究期間：1～3年 新規採択予定課題数：12課題程度</p> <p><公募課題研究> ① 障害者プラン（障害者基本法第7条の2に規定される障害者基本計画を具体化するための重点施策実施計画）、それに基づく行政サービス等の評価指標に関する研究 ② 障害者の心身機能、社会参加、活動及び生活環境についての評価に関する研究 ③ 障害者ケアマネジメントの効果的な実施及び評価に関する研究</p>

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<ul style="list-style-type: none"> ④ 精神科急性期病棟、リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究 ⑤ アルコール依存症のリハビリテーション施設の在り方に関する研究 ⑥ 具体的対応を視野にいたした高次脳機能障害の評価方法の開発と普及に関する研究 ⑦ 優良な身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬及び聴導犬）の育成・普及のための基盤整備に関する研究 ⑧ 障害者の社会参加に資する具体的支援技術（支援機器及び福祉用具）の開発に関する研究 ⑨ 障害者施策の企画・立案に資する研究評価と情報収集に関する調査研究 ⑩ その他、障害者の保健福祉施策の企画・立案及び実施に資する研究であって、重要性及び緊急性が特に高いもの 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 障害者に係る支援機器に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (7) 障害者の就労や資格取得、社会参加の促進などに向けた支援機器の開発及び利用に関する研究 (4) 重度または重複障害者を対象とした、生活の質（Quality of Life）の向上のための支援機器利用に関する研究 (ウ) 高位頸髄損傷者や重症心身障害児・者の自立支援機器の開発に関する研究 ⑤ 障害者に係る情報バリアフリーの促進（IT技術の導入）に関する研究 ⑥ WHO国際障害分類改訂版（ICF）の活用のあり方に関する研究 ⑦ 重度あるいは処遇が難しい障害者に対する適正な医療、リハビリテーション等の提供に関する研究 ⑧ 障害者の授産施設などにおける訓練から職業復帰に向けたサービスの充実に関する研究 ⑨ 障害者の社会的理解の促進及び自己決定の支援、自己選択の支援等の権利擁護に関する研究 ⑩ 障害者に対する保健福祉サービスの従事者の資質向上の在り方に関する研究 ⑪ 施設内での処遇から地域生活への移行に向けた、障害者に係る地域生活の支援及び家族の支援に関する研究

研究事業名 子ども家庭総合研究事業

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<p><事業概要> 同右</p> <p><新規課題採択方針> 同右</p> <p>研究費の規模：1課題当たり2,000～20,000千円程度(1年当たり) 研究期間：1～3年 新規採択予定課題数：10課題程度</p> <p><公募研究課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 母子保健施策の推進に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 地域における健やか親子21の推進に関する研究 ② 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (イ) 妊娠出産と母子の長期的経過についての縦断研究 ③ 児童虐待防止対策の推進に関する研究のうち、次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 虐待ハイリスクの把握と効果的なリスク低減システムの構築に関する研究 (イ) 児童虐待に対する総合的医療システムのあり方に関する研究 	<p><事業概要> 乳幼児の障害の予防、乳幼児及び生涯を通じた女性の健康の保持増進等について効果的・効率的な研究の推進を図るとともに、少子化等最近の社会状況を見据えて、児童を取り巻く環境やこれらが児童に及ぼす影響等についての総合的・実証的な研究に取り組むことにより、母子保健の推進及び子育て支援を総合的・計画的に推進するための児童家庭福祉の向上に資することを目的とする。 なお、本研究事業は、総合的かつ効果的な推進を図るため研究課題によっては文部科学省との共同・連携を図っていくこととしている。</p> <p><新規課題採択方針> 「健やか親子21」及び「新エンゼルプラン」に対応した、母子保健及び子育て支援を総合的・計画的に推進するための児童家庭福祉、乳幼児の障害の予防、母性・乳幼児の健康及び生涯を通じた女性の健康の保持増進に関する研究。 研究費の規模：1課題当たり2,000～20,000千円程度(1年当たり) 研究期間：1～3年 新規採択予定課題数：20課題程度</p> <p><公募課題研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 母子保健施策の推進に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 遺伝子医療の基盤整備に関する研究 (イ) 乳幼児突然死症候群のガイドライン作成に関する研究 (ウ) 母子健康手帳の学校保健等における活用に関する研究 ② 思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) ピアカウンセリング・ピアエデュケーションのマニュアル作成及び効果的普及に関する研究 ③ 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 生殖補助医療の実態及びそのあり方に関する研究 (イ) 快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<ul style="list-style-type: none"> (ウ) 児童虐待防止に効果的な地域セーフティネットのあり方に関する研究 (エ) 被虐待児童の心身の機能回復に向けた家族支援のあり方に関する研究 ④ 地域子育て支援サービスの推進とネットワークのあり方に関する研究のうち、次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 子ども家庭支援プログラムの開発に関する研究 ⑤ 児童の健全育成に関する研究のうち、次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 児童福祉機関における思春期児童等に対する心理的アセスメントの導入に関する研究 ⑥ 子どもの発達と家庭への支援方策に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 小児慢性疾患の診断精度及び治療成績の向上のための方策に関する研究 ⑤ 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 保健医療福祉スタッフのためのメンタルケアマニュアル開発に関する研究 ⑥ 小児科・産婦人科若手医師育成に関する研究 ⑦ 生涯を通じた女性の健康支援に関する調査研究*0.に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 生涯を通じた健康の管理・保持増進のための健康教育・相談支援等の充実に関する研究 (イ) 望まない妊娠、人工妊娠中絶を防止するための効果的な避妊教育プログラムの開発に関する研究 ⑧ 児童虐待防止対策の推進に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 児童虐待予防のための地域における家族支援システムのあり方に関する研究 (イ) 児童相談所における介入方法と予後に関する研究 (ウ) 児童福祉施設における被虐待児童の実態及び家族再統合に向けた支援のあり方に関する研究 ⑨ 女性の保護に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 児童問題と家庭内暴力との関係等に関する研究 ⑩ ひとり親家庭等の自立支援に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) ひとり親家庭や再婚家庭の実態及び支援のあり方に関する研究 ⑪ 児童の健全育成に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 非行・ひきこもり等の児童問題対策に関する研究 (イ) 児童福祉施設等における地域支援のあり方に関する研究 ⑫ 保育需要の把握及び将来推計に関する研究 ⑬ 保育が乳幼児の心身の発達に及ぼす影響に関する研究のうち次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> (ア) 保育所給食のあり方に関する研究 (イ) 保育の国際比較に関する研究 (ウ) 望ましい保育環境のあり方に関する研究 ⑭ 子どもの発達と家庭への支援方策の推進に関する研究

研究事業名 ヒトゲノム・再生医療等研究事業

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<p><事業概要> 同右</p> <p><新規課題採択方針> (再生医療分野) ミレニアムプロジェクトにて当初から計画されていた分野であり、なおかつ実現性の高い研究。 研究費の規模：1 課題当たり 30,000～50,000 千円程度 (1 年当たり) ただし、重点課題にあつては 50,000 千円以上 研究期間：1～3 年 (中間評価により途中で終了することがある。) 新規採択予定課題数：20 課題程度</p> <p><公募研究課題> (再生医療分野) ① 骨・軟骨分野 (ア) 軟骨欠損修復のための新しい治療法の開発とその臨床応用 (イ) 組織工学技術を用いた骨・軟骨の効果的効率的再生による臨床研究 ② 血管分野 (ア) 自家組織、細胞を利用した冠動脈再生及び四肢末梢における血管再生の誘導 (イ) 組織工学、再生医療技術を応用した凍結保存同種あるいは異種弁移植の質の向上に関する研究</p>	<p><事業概要> 新しい千年紀のプロジェクト、すなわち「ミレニアム・プロジェクト」のうち、高齢化分野のプロジェクトを構成する事業の一つとして、高齢者等の主要な疾患の遺伝子の解明に基づく個人の特徴に応じた革新的な医療の実現、自己修復能力を利用した骨、血管等の再生医療の実現、生命工学を利用した疾患予防・健康維持のための高機能食品の開発などを旨とする。また、これらに関わる安全性の確保のための研究を進める。 なお、本研究事業は、総合的かつ効果的な推進のために、文部科学省、農林水産省、経済産業省との共同・連携を図っていくこととしている。</p> <p><新規課題採択方針> (再生医療分野) 公募無し</p> <p><公募課題研究></p>

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<p>(ウ) 血管新生と血管保護を用いた治療法の開発に関する研究 (エ) 骨髄細胞を用いた形質転換心筋細胞の開発に関する研究</p> <p>③神経分野 神経幹細胞を用いた神経疾患の治療に関する研究</p> <p>④皮膚・角膜分野 (ア) 組織工学、再生医療技術を応用した皮膚移植の質の向上及びレジストリーシステムに関する研究 (イ) 組織工学を応用した培養皮膚の実用化に向けた研究 (ウ) Stem cell を用いた機能的皮膚の開発に関する研究 (エ) 抗炎症作用上皮シートを用いた再生角膜移植に関する臨床研究</p> <p>④血液分野 (ア) 骨髄等を利用した効率的な造血幹細胞移植の運用・登録と臨床試験体制の確立に関する研究 (イ) 臍帯血を用いた造血細胞移植の確立に関する研究 (ウ) 造血系再生医療への応用を目的とした増殖分化制御システムの開発研究 (エ) 臍帯血を用いた造血幹細胞の体外増殖システムの確立と基盤整備に関する研究 (オ) 骨髄非破壊的前処置療法を用いた同種造血幹細胞移植の確立と普及に関する研究 (カ) 同種末梢血幹細胞移植の確立に関する研究</p> <p>⑤移植技術分野 臓器の移植技術及び移植医療の社会的基盤に関する研究 (ア) 安全な移植技術の確立に関する研究 (イ) 臓器移植の成績向上と新規治療法開発に関する研究 (ウ) 角膜・腎臓移植の普及啓発に関する研究 (エ) 脳死下での臓器移植の社会基盤に関する研究</p> <p>⑥品質管理分野 (ア) 細胞・組織利用医薬品・医療用具の品質・安全性等の確保に関する基盤技術開発研究 (イ) ヒト幹細胞の培養システムの開発と臨床材料の提供に関する研究</p>	

研究事業名 効果的医療技術の確立推進臨床研究事業

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<p><事業概要> 同右</p> <p><新規課題採択方針> 同右</p> <p>1 がんの治療法を確立するための臨床研究 我が国におけるエビデンスの確立に資するよう、必要な症例数の集積が可能である班構成により実施される多施設共同研究 研究費の規模：初年度1課題あたり10,000千円～50,000千円程度とし、2年目以降は半額程度とする。（1年当たり） 研究期間：1～3年 新規採択予定課題数：3課題程度</p> <p>2 医療手順の研究 広く医療機関で活用できる具体的な医療手順を作成する研究 研究費の規模：1課題あたり5,000千円～10,000千円程度（1年当たり） 研究期間：1年（評価により3年まで継続することがあり得る。） 新規採択予定課題数：5課題程度（心筋梗塞及び脳卒中の急性期とその関連疾患5課題程度）</p>	<p><事業概要> 根拠に基づく医療（Evidence Based Medicine）の推進を図るため、がん、心筋梗塞・脳卒中等の生活習慣病、痴呆・骨折、小児疾患に関して、より効果的な保健医療技術の確立を目指し、研究体制の整備を図りつつ、日本人の特性や小児における安全性に留意した質の高い大規模な臨床研究を実施することを目的とする。</p> <p><新規課題採択方針> がん、心筋梗塞、脳卒中、その他の生活習慣病、小児疾患について、より効果的かつ効率的な予防、診断、治療等を確立するための質の高い臨床研究</p> <p>1 医療手順の研究 広く医療機関で活用できる具体的な医療手順を作成する研究 研究費の規模：1課題あたり5,000千円～10,000千円程度（1年当たり） 研究期間：1年（評価により3年まで継続することがあり得る。） 新規採択予定課題数：8課題程度（がん2課題程度、心筋梗塞・脳卒中及びその他の生活習慣病6課題程度）</p> <p>2 がん、心筋梗塞、脳卒中及びその他の生活習慣病の予防、診断、治療等を確立するための臨床研究 我が国におけるエビデンスの確立に資するよう、必要な症例数の集積が可能である班構成により実施される多施設共同研究 研究費の規模：初年度1課題あたり10,000千円～50,000千円程度とし、2年目以降は半額程度とする。（1年当たり） 研究期間：1～3年 新規採択予定課題数：20課題程度（がん10課題程度、心筋梗塞・脳卒中・生活習慣病10課題程度）</p> <p>3 心筋梗塞、脳卒中及びその他の生活習慣病の発症原因の解明 分子疫学的手法を用いた生活習慣病の発症機序解明に関する研究 研究費の規模：1課題あたり10,000千円～50,000千円程度。（1年当たり） 研究期間：1～3年 新規採択予定課題数：1課題程度</p>

平成 1 5 年 度 (案)	平成 1 4 年 度
<p>3 小児疾患について、より効果的かつ効率的な予防、診断、治療等確立するための質の高い臨床研究 研究費の規模：初年度1課題当たり、10,000千円～50,000千円程度とし、2年目以降は半額程度とする。(1年当たり) 研究期間：3年 新規採択予定課題数：2～3課題程度</p> <p><公募研究課題> (がん分野)</p> <p>① がんの治療法を確立するための臨床研究 (ア) 再発高危険度群乳がんの予後改善を目指した標準的治療法確立に関する研究 (イ) 転移性腫瘍に対する標準的治療法確立に関する研究 (ウ) その他、がんに対する標準的治療法の確立に関する研究</p>	<p>4 小児疾患について、より効果的かつ効率的な予防、診断、治療等確立するための質の高い臨床研究 研究費の規模：初年度1課題当たり、10,000千円～50,000千円程度とし、2年目以降は半額程度とする。(1年当たり) 研究期間：3年 新規採択予定課題数：6～8課題程度</p> <p><公募課題研究> (がん分野)</p> <p>① 入院患者の個別病態ごとの具体的な医療手順に関する研究 (ア) 大腸がんの具体的な医療手順の作成に関する研究 (イ) 子宮がんの具体的な医療手順の作成に関する研究</p> <p>② がんの治療法の確立に関する臨床研究 (ア) 頭頸部がんのリンパ節転移に対する標準的治療法の確立に関する研究 (イ) 難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究 (ウ) 早期前立腺がんにおける根治術後の標準的治療法の確立に関する研究 (エ) 小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究 (オ) 悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究 (カ) 高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究 (キ) 乳癌に対する標準的縮小手術の確立に関する研究 (ク) 食道がんに対する術後標準的治療法の確立に関する研究 (ケ) がんの腹膜播種に対する標準的治療法の確立に関する研究 (コ) 固形がんに対する同種細胞免疫療法を用いた標準的治療法の確立に関する研究 (ク) その他、がんに対する標準的治療法の確立に関する研究</p> <p>(心筋梗塞・脳卒中(急性期を除く)及び糖尿病の臨床研究分野)</p> <p>① 心筋梗塞及び脳卒中(急性期を除く)及び糖尿病における効果的かつ効率的な治療等の確立に関する調査研究 入院患者の個別病態ごとの具体的な医療手順に関する研究 (ア) 心不全合併心筋梗塞の具体的な医療手順の作成に関する研究</p>

平成 1 5 年 度 (案)

平成 1 4 年 度

(心筋梗塞・脳卒中の臨床研究分野)

- ① 心筋梗塞及び脳卒中の急性期とその関連疾患に対するより効果的かつ効率的な治療等の確立に関する調査研究
 - (ア) 患者の個別病態ごとの具体的な医療手順に関する調査研究のうち次に掲げるもの
 - (a) 不整脈の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (b) 狭心症の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (c) 冠動脈バイパス術の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (d) 肺塞栓症の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (e) 片頭痛の具体的な医療手順に関する調査研究

(小児疾患に関する臨床研究分野)

- ① 小児疾患に対する薬物療法のエビデンスに関する臨床研究

- (イ) 2型糖尿病患者における周術期の血糖コントロールに関する具体的な医療手順の作成及び普及に関する研究

② 生活習慣病の治療法の確立に関する臨床研究

- (ア) 循環器疾患の発症及び再発を予防するための標準的降圧療法の確立に関する研究
 - (イ) 弁置換術後脳梗塞及び高次脳機能異常予防のための標準的抗凝固療法確立に関する研究
 - (ウ) 脳血管疾患の再発に対するHMGCoA阻害剤等の高脂血症治療薬の予防効果に関する研究
 - (エ) 女性の心血管疾患の予防・治療におけるホルモン補充療法の効果に関する研究
 - (オ) 糖尿病を合併した心血管疾患患者におけるアスピリンの再発予防効果に関する研究
 - (カ) その他、循環器疾患及び糖尿病の治療法確立に関する研究

③ 生活習慣病の発症機序に関する研究

- (ア) 分子疫学的手法による生活習慣病発症機序解明に関する研究

(心筋梗塞・脳卒中の臨床研究分野)

- ① 心筋梗塞及び脳卒中の急性期におけるより効果的かつ効率的な治療等の確立に関する調査研究
 - (ア) 入院患者の個別病態ごとの具体的な医療手順に関する調査研究のうち次に掲げるもの
 - (a) 急性心筋梗塞の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (b) 頸動脈狭窄症の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (c) 冠動脈バイパス術の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (d) 急性期における解離性大動脈瘤の具体的な医療手順に関する調査研究
 - (イ) 超急性ブレインアタックから脳を守るための軽度低体温療法に関する研究

(小児疾患に関する臨床研究分野)

- ① 小児疾患に対する薬物療法または小児医療技術のエビデンスに関する臨床研究